

2025 年 3 月

「実践人文学プログラム」について

○概要

- ・人文学研究科人文学専攻では、令和 8 年（2026 年）4 月に「実践人文学プログラム」を博士前期課程に創設します。
- ・伝統的な学術的作法に基づいて専門分野の知見を探究するアカデミックな研究者像にとらわれず、人文学の複数の分野にわたる知識の習得や独自の観点からの研究を通じて得られた知見を積極的に社会に還元する人材の育成をめざすプログラムです。
- ・通常プログラムとは異なり、入学者判定において研究計画の具体性と独自性を問う「研究プロポーザル」を重視します。また、修士論文に代えて幅広い内容と形式を許容する「修了研究」を課します。

○次のような方々の入学を歓迎します

- ・人文学に関する幅広い教養を身につけ、専門研究にとらわれない自由な研究課題（創作を含む）に取り組み、修士号取得後は大学以外で活躍することを積極的に望む方。
- ・一般学生、外国人留学生のほか、職業経験を活かした実践的な研究をめざす社会人、企業人、中学校・高校などの教員、定年退職者の方。

○「修了研究」

- ・プログラム受講生は、修士論文に代えて「修了研究」を提出します。
- ・修了研究は各専門分野の伝統的な学術的方法に基づいた論文に限らない、実践的・応用的な内容の成果物とします（紙媒体に限らない）。字数・形態については、専門分野ごとに定めます。
- ・想定される修了研究例：
 - ・古典や現代の文学作品の翻訳、注解。
 - ・古典や現代の文学作品の翻案、（演劇などの）上演。
 - ・文学作品や映像作品の批評、書評、紹介動画。
 - ・各種分野の研究史や最新動向の調査や紹介・発信。
 - ・（中高教員志望者は）研究内容に基づいた授業で使用する副教材。
 - ・（医療従事者、ソーシャルワーカー、僧侶などは）研究内容を活かした実践計画。
 - ・哲学対話やサイエンスカフェなど、研究内容に関わる企画の実践計画や実施レポート。

○入学試験

※ 赤字は 2024 年 6 月 21 日公表「実践人文学プログラム（仮称）について」からの変更点

※※入学試験の概要については「人文学研究科人文学専攻博士前期課程実践人文学プログラム特別選抜について」確認のこと

- ・定員は若干名。
- ・令和 8 年 4 月に本プログラムへの入学を希望する場合は、令和 8 年 1 月末に実施される入学試験（人文学研究科人文学専攻博士前期課程実践人文学プログラム特別選抜）に合格する必要があります。本入学試験の募集要項は令和 7 年 6 月（下旬頃）に公開予定です。
- ・入試は、出願書類（研究プロポーザル等）と口頭試験により行います。
- ・入学後の通常プログラムへの変更は認めません。
- ・本プログラムの受験を希望する方は、事前に専門分野教員と研究計画について相談する機会

をもつことを強く推奨します（そのための一つの機会として、大学院説明会を開催します。
詳細は「大阪大学大学院人文学研究科人文学専攻」ウェブサイトをご覧ください）。

○その他

- ・本プログラム入学者は、所定の単位を修得すれば、英語、社会（地理歴史・公民）、フランス語の中学校・高等学校教諭専修免許状が取得可能です。
- ・プログラムに関する詳細は、随時「大阪大学大学院人文学研究科人文学専攻」ウェブサイト内のページに掲載。
- ・お問合せは、人文学研究科豊中事務部教務係（jinbun-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp）まで。

※ 2024年6月21日公表の「実践人文学プログラム」（仮称）についての内容からの変更点

○入学試験

変更前	⇒	変更後
・令和8年4月に本プログラムへの入学を希望する場合は、<u>令和7年9月（予定）</u>に実施される入学試験に合格する必要があります。		・令和8年4月に本プログラムへの入学を希望する場合は、<u>令和8年1月末</u>に実施される入学試験（<u>人文学研究科人文学専攻博士前期課程実践人文学プログラム特別選抜</u>）に合格する必要があります。
・入試は、<u>研究プロポーザルと面接により行い、専門分野によっては、外国語筆記あるいは分野に不可欠な基礎学力の試験を追加します。</u>		・入試は、<u>出願書類（研究プロポーザル等）と口頭試験により行います。</u>